

| 質問の件名及び質問の要旨（質問時間）   | 答弁を求める者                |
|--|------------------------|
| <p>1. 鶴ヶ島町史と町屋鎌倉街道の整備 (40分)</p> <p>鎌倉街道においては、鶴ヶ島町史編纂室・高篠喜一氏編「ふるさと鶴ヶ島」が、昭和53年から55年にかけて実施された町内民俗調査の結果を中心にまとめられました。この町史民俗編の発刊書を引用させていただきます。</p> <p>建久三年、頼朝が征夷大將軍となり鎌倉幕府を開いたのは今から七百八十余年前のことである。鎌倉に政治の中心が移り、諸国から鎌倉に通じる要路鎌倉街道は、軍政上極めて重要な意味を持っていた。鎌倉街道はこうした時代に作られたものである、</p> <p>所沢・入間川・柏原・女影・駒寺野新田・町屋・森戸を経て苦林・今宿・大蔵・菅谷へと伸びる街道沿には古戦場跡が残っている。当時鎌倉武士や土豪の士がこの街道を往来したことであろう。</p> <p>坂戸市森戸の国渭地祇神社の西方田利という所を、南に坂を上り、坂戸―飯能県道を横切る辺から深い堀割りとなり鶴ヶ島町大字町屋宇持家に入る。この直線上の堀割は鎌倉街道の跡である。幅5m90cm 深さ2m13cm、延長92m50cmあり、今は下水道の役目を果し、往事より浅くなっていることであろう。</p> <p>この延長は町道五七号線を横切り更に直線状に伸びているが、いつの頃か堀割の半分が道路となり、残りの半分が旧街道の名残を留めているのみである。</p> <p>幅2m60cm、深さ65cm、直線部分延長207mのこの堀割は、町屋分が更に曲がりながら伸びて駒寺野新田に入る。</p> <p>町屋の家並みはこの街道に沿ってある。</p> <p>古文書『新編武蔵風土記稿』の四日市場村の項に「東は森戸村と古鎌倉街道を界し南は町屋村と限り」とあり、鎌倉街道は四日市場村との境であるとともに森戸村との境でもある部分がある。鎌倉街道筋も今は地域開発が進み往時の面影を残すところも極めて少ない。そうした中で、町屋に残る街道跡は貴重な残跡である。</p> <p>この町史は昭和56年3月31日 第一刷発行、そして昭和57年2月27日に第二刷が発行されています。</p> | <p>市長<br/>教育委員会教育長</p> |

| 質問の件名及び質問の要旨（質問時間）   | 答弁を求める者                |
|--|------------------------|
| <p>町屋の鎌倉街道は、台風や豪雨のたびにその流水の経路も様々であり、道路や畑が冠水し路肩も不備で危険が伴います。以前からこの鎌倉街道の整備の必要性が問われて来ましたが、計画は一向に進みません。平成14年6月議会において、</p> <p>問題解決に当たりましては、流末となります坂戸市から上流となります日高市に及ぶ広域的な排水路整備が必要であります。この整備には長期間を要するものと考えております。本年度の作業は、これまでの浸水等の状況を把握するとともに、現況水路の対策方法等について調査研究するもので、資料収集を行っているところであります。</p> <p>また、日高から流れて、鶴ヶ島に流れて、そして日高に流れるものと、日高から鶴ヶ島を通過して坂戸に流れる、幾つかの分水嶺があるようですが、水は余り流域変更というのは実はなかなか難しい問題がありますから、専門家のご意見を聞きながら水利、水門学も含めて水理工学の中でできる範囲のものを取り組めるものはあるか、若干時間はかかると思いますが地元と一緒にこれからの方向づけをお願いしていきたいと思っております。との答弁でありました。</p> <p>(1) 太平洋セメントから冷却水が流れていることのへ対応、対策について</p> <p>(2) 事故等に対する対策（簡易鉄パイプの状況）について</p> <p>(3) ボックスカルバートによる手法の考え方について</p> <p>(4) 今後の整備手法の考え方について</p> <p>(5) 歴史、文化の考え方について</p> <p>(6) ふるさと鶴ヶ島の第一刷 及び第二刷の冊数及び記録・控えの管理状況は</p> <p>(7) ふるさと鶴ヶ島の再増刷について</p> <p>(8) 転入されてきた方々へ鶴ヶ島の民俗事例の紹介伝承のため転入祝いとして贈ることについて</p> | <p>市長<br/>教育委員会教育長</p> |